

# わんぱく学園ニュース

平成17年 5月号 No113

木々に若葉、夏の歩みが始まる5月——

初々しい緑の美しさに、しばし心を奪われます。あのほろ苦く香りの高い蔭(フキ)があちこちの野山から庭先まで生い茂っています。

さて、4月に楽しんだ「わんぱく学園」の遊びのひとつを紹介します。

[土江 記]

## 初めての竹の子掘り！

通級に来られた保護者に「わんぱくニュース」を渡すと17日の“竹の子掘り”を見て、親の方が「わぁ～、竹の子掘りしたいな！。行く、行く」と即座に、話がまとまった。子どもよりその日を心待ちにしていたのは大人の方かもしれない。

素晴らしい青空の爽やかな朝、9時30分アトリエ「おちらと」に集合。南場さん家族、田中さん家族、吾郷さん親子、亮君、鮎美さん、拓也君、広君、山口さん、土江先生、私と総勢16人。心うきうき目的地は、「おちらと」から車で5分、土江先生のご実家。待っていて下さったのは、土江先生のお兄様の原周弘先生でした。いろいろ準備や下見もして下さっていました。

広い邸宅から裏山に行く途中には、雪柳、桜の花や、スモモ、やまぶき、山いちご、シャガの花々など辺り一面に。まさに自然の宝庫！裏山に着くと、もっこもっこ竹の子坊やが頭を出していました。

子ども達も初めての体験。シャベルやくわで頑張って掘りました。私が掘りかけた竹の子を途中から折ってしまうと、「原先生、もったいなかったね」と亮君。「ほんと！下も食べれるのにね」と物を大切に作る心もみせてくれました。どの子も大人も気持ち良い汗をかきかき、整地なされたあちこちでの竹の子掘り。いつの間にか掘り出した“竹の子の山”が出来、みんな大満足。ソメイヨシノの桜の花びらが舞い散る中、満開の八重桜の下にシートを敷いてもらい、みんなが持って来たお弁当を食べ、おしゃべりに花が咲きました。みんなにと用意

して下さった飲み物を頂きながら、養護学校の寮生活の楽しい話を聞かせてくれたり、三葉園での仕事を教えてくれたり、オゾンいっぱい吸い、子どもも大人も皆生き生きと穏やかで幸せな顔でした。

原周弘先生からいろいろなお話もいただきました。「僕が幼き頃、2本の竹をいただき植えたのが、今ではしっかりと根をつかせ広がり、こんな大きな竹やぶになりました」と。私たちの会も、このようにしっかりと根を張り大きく広がっていけばいいなとも思いました。

裏山から下りると3歳児の晴都君が「先生、来て！」と。田んぼの中のたくさんのおたまじゃくしを見つけ、またまた感激。近くには牛舎もありました。春のさわやかな半日、久しぶりに豊かな自然と、あの慈愛に満ちた眼差しで何事も包み込むような温かな原周弘先生のお人柄にも触れ、収穫した竹の子をたっぷりいただき、帰路につきました。



[原幸 記]

## ★宇宙人 ぐいのみ 作ったよ！！

4月24日アトリエ「おちらと」で、陶芸家安食ひろ校長のあの柔らかな心を借りながら、粘土コネコネ遊びをしました。いつもとはちょっと違うひとときでした。

5月3日～5日の三日間、ゴビウス北側にある穴道湖公園多目的棟(休憩所)で作品展(ミニギャラリー)をするその作品づくりをしました。

あのろくろの上に“ドカッ”と置かれた粘土の固まりが、ひろ校長の魔法の手にかかると信じられない程、形・大きさがみな違う“ぐいのみ”へと変身していきました。その土台づくりは、この日参加した子ども・大人17名が大活躍。スプーン・葉っぱ・かたつむりなど楽しくなりそうないろいろな台が次々と…。その上へひろ校長作陶のぐいのみをのせ、称して『宇宙人 マイ ぐいのみ』。

同じテーマに向かって黙々と時にはにぎやかに作っていた子どもらは、まさに“楽しくってたまらない”といった表情でした。無心に粘土と真正面に向き合うあの心地よさが時間(50分)を忘れさせ、17名の心を一つに集中させてくれました。何とその作品数75点が、彼女らの、そのひとときの心を物語っています。

そのおもしろおかしな『宇宙人 マイぐいのみ』を、どうぞご覧にいらして下さいね。作品は展示・販売し、四苦八苦している活動資金づくりにつなげていけたらいいな〜と考えています。  
みなさん!どうぞわんぱく学園へのご協力をよろしくお願い致します。  
[土江 記]

### ★古墳前での野だて

おちらとの敷地内にある山崎古墳前で野だてをし、いきなひとときを過ごしました。

竹の子が次々と顔をのぞかせている孟宗の竹ばやし、紅色の花が咲いているやぶ椿、若葉をまとった桜の木など、みずみずしい自然の中で楽しみました。シートの上に正座し、一口饅頭を口にし、“3回まわして”お抹茶をいただく子どもたちは、いつもとはちょっとよそゆき顔の神妙さ。学園スタッフの尾原先生の茶筌さばき、お手前もなかなかのものでしたよね。

わんぱく学園にくる子ども一人ひとりに、日本文化のひとつである、お抹茶の世界を味わってくれればと……。また来月も、安食ひろ校長宅からいただいた出雲の神々を思い起こさせてくれる「神の里」というお抹茶での野だてを、楽しみたいと考えています。

山崎古墳ってね、6世紀末〜7世紀いわゆる聖徳太子時代の古墳です。風土記の丘の出雲の臣(おみ)の祖先の分家すじのお墓です。石棺式石室古墳です。(郷土史研究家の方からの話しによる) [土江 記]



### ❖ 出会いに感謝……

昨年10月松江にて初めてお会いする機会を得た、松江ご出身の長谷敏明先生は、倉敷市玉島中央病院循環器内科部長としてご活躍しておられます。長谷先生の発行されている一人新聞「生命(いのち)のつながり」を楽しみにしている私ですが、4月号にこんなことも記してありました。『前文略〜パーフェクトな人は誰もいない〜中略〜弱さに気付く(弱さを見せる)ということは、自分に正直になる(ありのままの自分を認める)ということでしょう。弱さを隠す(傲慢な私)から、少しずつでも弱さをオープンに(謙虚になる)していきたいものです。そうすることで、人とより深くつながっていけるように思います。』と。——— 立ち止まらせていただいた私、肩をはずすおちらと生きることの大切さを痛感し改めて教えられました。 [土江 記]

### お知らせ

特別支援教育部会の今年度の部長様は、出雲市立平田小学校長榎野博己先生に決定したようでございます。この度、榎野校長先生のご好意により、この「わんぱく学園ニュース」を関連の各小中学校の枚数分を一括平田小学校へ送付させて頂くことになりました。従いまして、榎野校長先生の方より該当の学校宛へ配布していただきますので、ご面倒とは思いますが何かとよろしくお願い致します。榎野校長先生のご配慮に感謝申し上げます。ありがとうございます。  
◆5月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

5月3日~5日	ショップみずわ開店(宍道湖公園多目的棟)10時~16時
8日	荒神谷遺跡公園で遊ぼう(担当 原 鞆姓・土江 継) 現地管理棟9時半集合 ※おにぎり 水筒 ごみ袋持参
15日	斐川町の友達と遊ぼう!?(担当 榎野 麟蔵・福田 紘姓) (西代橋より二つ目信号を過ぎた所)場所;久木ふれあいプラザ 榎蔵;300円 ※合併鍋
22日	グランドゴルフ(久多美小校庭9畔・担当 福田 紘姓)雨天中止
29日	粘土宇宙人カップ作り(担当 安食ひろ校長・場所 アトリはおちらと) 野だて(神の里)…山崎古墳にて 榎蔵300円

※集合時間9時30分・集合場所文化館駐車場 [文責 土江和世]